

都市の緑3表彰 受賞者決定

「第39回緑の都市賞」「第30回緑の環境プラン大賞」「第18回屋上・壁面緑化技術コンクール」

緑豊かなまちづくりに貢献する市民団体、企業等を表彰します

(公財)都市緑化機構では、人々の暮らしに潤いと安らぎを与え、地球温暖化の抑制や生物多様性の保全に寄与する都市の緑地保全と緑化推進の普及啓発を目的とした3つの表彰事業「都市の緑3表彰」を実施しております。このたび、厳正な審査の結果、内閣総理大臣賞をはじめとする各賞の受賞者を決定いたしました。

2019年11月25日に明治記念館（東京都港区）において表彰式を行います。

第39回緑の都市賞 《内閣総理大臣賞、国土交通大臣賞他》

1981(昭和56)年に創設。緑豊かな都市づくりの推進を目的に、みどりを生かした環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化等に先進的かつ意欲的に取り組み、良好な成果を挙げている市民団体、企業、地方公共団体等を表彰します。(P2-P4)

第30回緑の環境プラン大賞 《国土交通大臣賞、おもてなしの庭大賞他》

1990(平成2)年に創設。同年に開催された「国際花と緑の博覧会」の理念を踏まえ、緑豊かな都市環境で育まれる人と自然とのふれあいやコミュニティの醸成等の実現に資する緑化プランについて、優秀作を表彰するとともに、そのプランの実現のための助成を行います。(P5-P8)

第18回 屋上・壁面緑化技術コンクール 《国土交通大臣賞、環境大臣賞他》

2002(平成14)年に創設。都市環境の改善と豊かな都市生活の実現を目的として、これまで緑化が困難とされてきた屋上、壁面等の特殊空間の緑化に積極的に取り組み、優れた成果をあげている民間企業、地方公共団体、個人等を表彰します。(P9-P12)

主催 (公財)都市緑化機構：会長 矢野龍 東京都千代田区神田神保町 3-2-4

(一財)第一生命財団：理事長 森田富治郎 東京都千代田区平河町 1-2-10 ※

※ 緑の環境プラン大賞主催

特別協賛 第一生命保険株式会社：代表取締役社長 稲垣精二 東京都千代田区有楽町 1-13-1

第39回 緑の都市賞 受賞団体

応募総数39件、第一次審査会：令和元年8月19日、第二次審査会9月27日

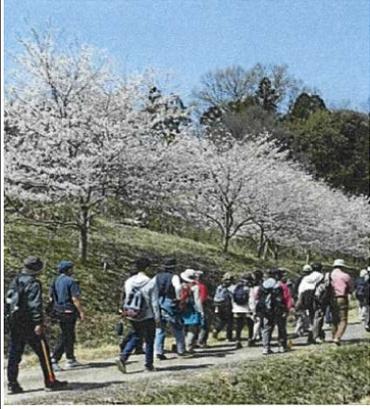
◎内閣総理大臣賞 [1点]

| 部門 | 作品名/場所 | 受賞者名 | 概要 | |
|----------|---------------------------------|--------------------------------|---|---|
| 緑の市民協働部門 | 子どもたちが学ぶ 北の里山づくり (北海道札幌市) | 特定非営利活動法人 北海道森林 ボランティア協会 | 地域社会と次世代の子ども達のために、都市環境林の整備及び子どもたちへの体験環境学習をボランティアで実践している。森林管理の専門家の指導を仰ぎながら整備計画を作成し、行政施策との連携も適切に図られており、札幌市の豊かな都市環境づくりに貢献している。 |  |

◎国土交通大臣賞 [3点]

| 部門 | 作品名/場所 | 受賞者名 | 概要 | |
|-----------|-----------------------------|---|--|---|
| 緑の市民協働部門 | 吉野山の 桜保全活動 (奈良県吉野町) | 大和ハウス工業 株式会社／ 公益財団法人 吉野山保勝会 | 古来より、日本を代表する桜の名所であり、1300年以上続く吉野の桜を維持し、将来に継承することを目的として、吉野山保勝会、教育委員会、大和ハウス工業が一体となって連携し、桜の保全活動に取り組んでいる。また、桜の保全と共に文化・伝統といった和の心を次代に繋ぐためのイベントを全国で展開している。 |  |
| 緑の事業活動部門 | 江古田の杜 プロジェクト (東京都中野区) | 江古田の杜リブイン ラボ協議会／ 積水ハウス株式会社／ 独立行政法人 都市再生機構／ 医療法人財団 健貢会総合東京病院 | 守り、受け継がれてきた江古田の森に隣接する地として展開するプロジェクト。「緑」を地域の共有の財産として、暮らしに潤いと安らぎを与える資源として「活用」していくために、このまちに住む人・働く人によってエリアマネジメント組織を組成し、緑の維持管理やイベント活動に取り組む。 |  |
| 緑のまちづくり部門 | 花と緑の まちづくり事業 (長野県須坂市) | 須坂市 | 美しい風景を共有し歴史的遺産を生かした情緒豊かな文化都市を目指し、ボランティアグループによる駅前ロータリー等の花壇整備や緑化意識高揚のための「花のまちづくりコンクール」などを開催し、市内にオープンガーデンや平和の花「カンナ」の植栽が広まる等、市民を中心としたまちづくりを展開している。 |  |

◎都市緑化機構会長賞 [3点]

| 部門 | 作品名/場所 | 受賞者名 | 概要 | |
|----------|---|--|---|---|
| 緑の市民協働部門 | 市民協働 「熊谷の力」 小江川地区 1000本桜事業 (埼玉県熊谷市) | 市民協働 「熊谷の力」 小江川地区 1000本桜事業 事務局 | 40年以上放置され荒れた里山の改善を2009年、市の市民提案制度で採択されたのが事業の始まり。5.2kmの桜並木と総延長12kmのサクラロードが完成した。200年前の石碑の発見、整備、ホテルも40年振りに復活、大鷹が移り住む環境となり、今では市民の憩いの場となった。 |  |
| 緑の市民協働部門 | 大塚バラロード (東京都豊島区) | 南大塚都電沿線 協議会 | 街の中心を通る都電荒川線沿線で、悪化した景観や治安の改善を目的に近隣住民による環境整備が始まり、かつて植えられていた100本のバラを活かした取り組み。新たな植樹により現在790種1190株のバラが咲くバラロードとなり様々な地域イベントが開催されている。 |  |
| 緑の事業活動部門 | 生物多様性に配慮 した緑地づくり (岩手県雫石町) | 盛岡セイコー工業 株式会社/ セイコーインスツル 株式会社 | 『雫石』の自然環境の恩恵を受け、事業と環境との共存を常に意識し、工場緑地の質を高める改善や適正な維持管理を行った結果、里山の様な緑地への変化と確実な生物多様性の向上が見られ、魅力を増した緑地で社内や地域とのコミュニケーション向上に繋げている。 |  |

◎奨励賞 [1点]

| 部門 | 作品名/場所 | 受賞者名 | 概要 | |
|----------|-----------------------------|--------------------|--|---|
| 緑の市民協働部門 | 目田川モデル 河川づくり (滋賀県守山市) | 認定NPO法人 びわこ豊穰の郷 | 赤野井湾周辺の水環境改善を掲げ、ゲンジボタルが乱舞する故郷の再現、琵琶湖とシジミに親しむ湖辺の再現を目指し取り組みをはじめ、環境教育の場の提供や守山ほたるパーク&ウォークのホテル飛翔地として多くの人々が楽しめる場所となっている。 |  |

第 39 回 緑の都市賞 概要

■ 目的

緑豊かな都市づくり・まちづくりを目指し、樹木や花などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、緑のリサイクル等に取り組み、緑あふれる施設づくり、街並みづくりに卓越した成果を上げている市民活動団体及び企業等、並びに都市の緑の保全や緑化の推進にあたり個性的な施策に取り組み、顕著な成果を上げている地方公共団体を顕彰することにより都市緑化普及啓発の推進、地球にやさしい生活環境の保全、創出を図り、もって緑豊かな安全、快適な都市の実現に寄与することを目的としています。

■ 募集の対象

| | |
|-----------|---|
| 緑の市民協働部門 | 応募資格:主に市民団体 ボランティアを基本とした緑化活動で、地域の社会や環境へ貢献するもの |
| 緑の事業活動部門 | 応募資格:主に民間事業者 ・民間、公共を問わず都市の緑の保全や創出を事業活動またはその一環として取り組んでいるもの ・NPO 法人等でも、公園の指定管理者など活動の大半を委託事業として取り組んでいるものも含む ・学校や病院等で、業者委託として緑地の整備や管理を行っているものも含む |
| 緑のまちづくり部門 | 応募資格:主に市区町村 都市全般の緑化に取り組み、その成果をあげているもので、地域の個性を活かした緑化を展開しているもの |

■ 表彰

| | | |
|-----------|------|-----------------|
| 内閣総理大臣賞 | 1点 | [副賞20万円(活動助成金)] |
| 国土交通大臣賞 | 3点以内 | [副賞15万円(活動助成金)] |
| 都市緑化機構会長賞 | 3点以内 | [副賞10万円(活動助成金)] |
| 奨励賞 | 若干 | [副賞5万円(活動助成金)] |

※副賞の活動助成金は「緑の市民協働部門」の受賞団体のみを対象。

■ スケジュール

募集期間 2019年4月1日～6月30日

入選発表 2019年10月11日

審査会 一次:2019年8月19日 二次:9月27日 表彰式 2019年11月25日於:明治記念館

■ 審査委員

| | | |
|-----|--------|-----------------------------|
| 委員長 | 榊山 紘一 | 印刷博物館 館長 |
| 委員 | 池田 三知子 | 一般社団法人日本経済団体連合会自然保護協議会 事務局長 |
| | 池邊 このみ | 千葉大学大学院園芸学部園芸学研究科 教授 |
| | 石川 幹子 | 中央大学研究開発機構 機構教授 |
| | 北村 知久 | 国土交通省 都市局長 |
| | 佐藤 滋 | 早稲田大学 名誉教授 |
| | 野口 智子 | ゆとり研究所 所長 |
| | 畑中 秀夫 | 第一生命保険株式会社 取締役常務執行役員 |
| | 涌井 史郎 | 東京都市大学 特別教授 |
| | 高梨 雅明 | 公益財団法人都市緑化機構 専務理事 |

■ 主催等

主 催 : 公益財団法人都市緑化機構

後 援 : 国土交通省, 総務省, 環境省, 全国知事会, 全国市長会, 全国町村会

特別協賛 : 第一生命保険株式会社

協 力 : 日本商工会議所, 公益社団法人日本青年会議所, 一般社団法人日本公園緑地協会, 一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会, 一般財団法人公園財団, 一般財団法人日本造園修景協会, 一般財団法人日本緑化センター, 公益財団法人河川財団, 一般社団法人日本建設業連合会

第30回 緑の環境プラン大賞 受賞団体

応募総数56件、審査会：2019年9月19日

◎国土交通大臣賞 [2点]

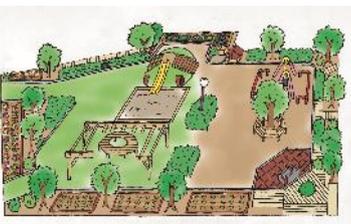
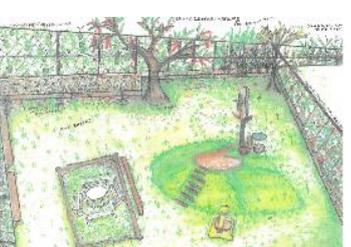
| 部門 | 作品名/場所 | 受賞者名 | 概要 | |
|-----------|--|---|--|--|
| シンボル・ガーデン | 藝大上野キャンパス 上野と谷根千を つなぐみちひろば (東京都台東区) | 東京藝術大学 キャンパスグランド デザイン推進室 | 上野公園と谷根千エリアをつなぐ通りに、誰もが歩いて楽しい「みちひろば」をつくる。四季折々の表情を見せる花木により、キャンパスの境界をやわらかな親しみのあるものへと改善し、景観向上とともに道路際に休憩スペースを設け地域を結ぶ空間づくりを行う。 |  |
| ポケット・ガーデン | 地域の文化遺産の 庭園を活用した 交流と体験の広場 (茨城県つくば市) | 特定非営利 活動法人 ヤナカノモリ “矢中の杜”の 守り人 | 国登録有形文化財「矢中の杜」の庭園の一部を整備し、地域住民や地元の子供たち、観光客などが緑に囲まれた空間で交流し、草花や土、木に触れながら楽しく様々な体験ができる広場を作ることを目的とする。 |  |

◎緑化大賞 [2点]

| 部門 | 作品名/場所 | 受賞者名 | 概要 | |
|-----------|---|----------------------------------|---|---|
| シンボル・ガーデン | 青山通り 緑のおもてなし 風景街道 (東京都 渋谷区・港区) | 特定非営利 活動法人 渋谷・青山 景観整備機構 | 青山通りが世界に誇れる美しい街路空間となることを目指し、街路の植込みを中心に、宿根草やグラスを組み合わせた統一したデザインの植栽を施す。魅力的な緑化景観をつくとともに、そのメンテナンスを地元住民や企業社員のボランティアが担うことで、地域づくりに取り組む。 |  |
| シンボル・ガーデン | みなが出会い・育み・ 共に生きる 「みのりの緑地」 (兵庫県神戸市) | 特定非営利 活動法人 こどもコミュニティケア | 保育園、障がい児デイサービス、介護施設が共存する区画に「みのりの森」をテーマにした緑化空間を創出する。多様な人々が共有できる緑空間をちりばめ、“みのりの回廊”として結ぶ。地域の方々との協働管理を通じ、障がいや疾病の人々が共に生きる地域社会づくりにとくむ。 |  |

◎コミュニティ大賞 [9点]

| 部門 | 作品名/場所 | 受賞者名 | 概要 | |
|-----------|---|------------------|---|---|
| ポケット・ガーデン | 樹齢140年 江南の藤・藤棚リフレッシュプロジェクト (埼玉県熊谷市) | 江南の藤保存会 | 樹齢 140 年の県内最大級の藤を支える藤棚は、老朽化が進み、525 m ² にも広がった枝の剪定作業などに危険を感じる状態になっている。この貴重な江南の藤保存に不可欠な棚の改修工事を、自然の多様性啓発に結びつけ、市民に広報・公開していくのが今回の事業。 |  |
| ポケット・ガーデン | かしわ・みんなの杜 (千葉県柏市) | 社会福祉法人 ぶるーむ | 道路拡幅工事により喪失した林縁・林床植生の復元を図るとともに、障がいをもった子供を含むすべての地域の子供たちや住民に森を楽しんでもらえるよう、五感で楽しめる計画としている。また、密集住宅地内に唯一残存する森林として在来種のみを植栽し、地域の生態系に配慮した計画としている。 |  |
| ポケット・ガーデン | 海辺の森 花咲く小路プロジェクト (新潟県新潟市) | NPO法人森の会 | 海辺の森は、120ha という広大な保安林内に総延長 8.4 kmの遊歩道がある。拠点となるキャンプ場内の単調な遊歩道沿に四季を彩る花壇を整備し、地域住民はもとより、訪れる観光客・キャンパーに「来る人に感動を！ 去る人に幸せを！」をフレーズとした花咲く森をつくる。 |  |
| ポケット・ガーデン | エリア3プロジェクト ～みんなで育み 集う場所～ (静岡県牧之原市) | 川崎絆づくり | 「みんなで育む場所」をコンセプトに、空き地を利用し、季節の草花が咲く「彩の庭」、心地よい香りで癒され楽しむ「かおりの小路」、芝生の上で寝転んだり絵本を読んだり、マルシェを開いたり、いろいろな楽しむことができる「賑わいみどりの広場」を、作業ごとに多くの人の参加を得ながらつくっていく。 |  |
| ポケット・ガーデン | 花と緑で繋がる テラス 「重利の里山公園」 (京都府亀岡市) | シゲトシ 重利の山を守る会 | 住宅近辺の人工林を住民が自ら間伐し、山全体を公園化する目的で整備している。今回は、山の入り口部分を花と緑のテラスにして、季節の花に囲まれたオープンカフェを開催し、地域のお年寄りから子供まで、誰もが気軽に集え元気になれるコミュニティの場になりたい。 |  |

| 部門 | 作品名/場所 | 受賞者名 | 概要 | |
|-----------|---|------------------------|--|---|
| ポケット・ガーデン | 食と植のまちにわ (大阪府柏原市) | 大正通り商店街 サポーターズ | 商店街の中心に位置する空き家が、広場をともなう複合施設に再生される。その広場の一部を無償で借り受け、食べられる植物・加工できる植物を含む緑を整備し、子供たちと近隣住民・商店主が交流・食育・ものづくりを行い、地域と親しむ場所とする。 |  |
| ポケット・ガーデン | 世界文化遺産 姫路城中曲輪 バタフライガーデン 創造事業 (兵庫県姫路市) | 兵庫県 姫路市立 白鷺小中学校 | 学校と地域の協働で、姫路城の眼前に 400 年前のジャコウアゲハの飛び交っていた風景を再現する。名称を『中曲輪バタフライガーデン』とし、地域はもとより、姫路市とも協力して年間 200 万人の観光客を対象に、蝶の生態観察の行える新たな体験型の観光スポットを創造し、地域活性化につなげる。 |  |
| ポケット・ガーデン | 花と緑で 人とまちをつなぐ、 保育園とつくる公園 (福岡県福岡市) | フルコガラス 古小鳥公園 愛護会 | コンクリートを剥がし、緑の面積を増やすことで全体を明るい雰囲気にするとともに、ヒートアイランド現象の緩和効果も期待している。また、行政・保育園・地域と協力し、誰でも参加できることを大切にする。花だけでなく、小さな畑や果樹園をつくり、地域の子供たちと学びあえる環境を作る。 |  |
| ポケット・ガーデン | 身近な自然に触れ 道行く人と鳥や虫が 憩う花と緑の広場 (沖縄県沖縄市) | 社会福祉法人 愛の泉保育園 | 「花のようにやさしい子を育てる」(花を通してやさしい心を育てたい)という理念のもとに、園内外を県産の草花で彩り、自然に親しみながら季節の魅力や変化を楽しめる園庭整備を行う。また、みどりを通じて、子供たちや道行く人々の笑顔を誘い、良質な保育環境の創出及び地域との交流を目指す。 |  |

◎「おもてなしの庭」大賞 [1点]

| 部門 | 作品名/場所 | 受賞者名 | 概要 | |
|-------------------|--------------------------------------|---------------------|---|---|
| 特別企画 「おもてなしの庭」 | 匠の庭師が 日本庭園文化を 世界に発信 (東京都港区) | 一般社団法人 日本造園組合連合会 | 多くの観光客が訪れる芝公園に日本庭園の伝統の技と江戸園芸文化を気軽に鑑賞・体験できるおもてなしの庭を創出する。 2020 年東京オリンピック・パラリンピック時には、庭技のパフォーマンスや竹の花火の飾りで国内外のお客様をもてなし、はなやいだ雰囲気を演出する。庭園文化や技術の発信とともに、その伝承を目指す。 |  |

第30回 緑の環境プラン大賞 の概要

■ 目的

全国から緑化プランを公募し、優れたプランを表彰するとともにその実現のために緑化工事助成を行うことで、緑豊かな環境の形成を図るとともに、生活の質の向上やコミュニティの醸成等を図るものです。また、東京都内を対象として「おもてなしの庭」プランを公募し、優れたプランを表彰・助成することで、花と緑で観光客を迎えるおもてなし空間の創出を図ります。

■ 募集の対象

| | | |
|-------------------|-------|---|
| シンボル・ガーデン部門 | 全国を対象 | 地域のシンボリックな緑地として、緑のもつヒートアイランド緩和効果、生物多様性保全効果等を取り入れることにより、人と自然が共生する都市環境の形成、および地域コミュニティの活性化に寄与するアイデアを盛り込んだ緑地のプランを募集します。 |
| ポケット・ガーデン部門 | 全国を対象 | 日常的な花や緑の活動を通して、地域コミュニティの活性化や、保育園・幼稚園、学校等での情操教育、身近な環境の改善等に寄与するアイデアを盛り込んだ花や緑のプランを募集します。 |
| 特別企画 「おもてなしの庭」 | 東京都限定 | 2020年に向けた特別企画として、花と緑で観光客をお迎えする魅力ある緑の創出、およびその場所でのおもてなしの活動に関するアイデアを盛り込んだプランを東京都内限定で募集します。 |

■ 表彰

● シンボル・ガーデン部門

| | | |
|---------|------|----------------------|
| 国土交通大臣賞 | 1点以内 | 副賞800万円以内（工事に対する助成金） |
| 緑化大賞 | 2点程度 | 副賞800万円以内（工事に対する助成金） |

● ポケット・ガーデン部門

| | | |
|----------|------|----------------------|
| 国土交通大臣賞 | 1点以内 | 副賞100万円以内（工事に対する助成金） |
| コミュニティ大賞 | 9点程度 | 副賞100万円以内（工事に対する助成金） |

● 「おもてなしの庭」プラン

| | | |
|-----------|----|----------------------------|
| おもてなしの庭大賞 | 1点 | 副賞2,020万円以内（工事及び活動に対する助成金） |
|-----------|----|----------------------------|

■ 審査委員

| | | |
|-----|--------|-------------------------|
| 委員長 | 進士 五十八 | 福井県立大学 学長 / 東京農業大学 名誉教授 |
| 委員 | 金子 忠一 | 東京農業大学 教授 |
| | 北村 知久 | 国土交通省 都市局長 |
| | 鈴木 裕一 | 株式会社産業経済新聞社 上席執行役員 |
| | 永山 妙子 | マネジメントコンサルタント |
| | 藤沢 久美 | シンクタンク・ソフィアバンク 代表 |
| | 村上 暁信 | 筑波大学 システム情報系 教授 |
| | 稲垣 精二 | 第一生命保険株式会社 代表取締役社長 |
| | 小野 文夫 | 一般財団法人第一生命財団 常務理事 |
| | 高梨 雅明 | 公益財団法人都市緑化機構 専務理事 |

■ スケジュール

| | | | |
|------|-----------------|------|---------------------|
| 募集期間 | 2019年4月1日～6月30日 | 入選発表 | 2019年10月11日 |
| 審査会 | 2019年9月19日 | 表彰式 | 2019年11月25日 於：明治記念館 |

■ 主催等

主催：公益財団法人都市緑化機構、一般財団法人第一生命財団
 後援：国土交通省、環境省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、東京都（おもてなしの庭）
 特別協賛：第一生命保険株式会社
 協力：一般社団法人建設広報協会、一般社団法人日本公園緑地協会、
 一般社団法人日本造園建設業協会、都市緑化基金等連絡協議会
 株式会社フジテレビジョン、株式会社産業経済新聞社、株式会社ニッポン放送

第18回「屋上・壁面緑化技術コンクール」受賞団体

応募総数 18件（屋上緑化部門：11件、壁面・特殊緑化部門：4件、特定テーマ部門：3件）
 審査委員会：令和元年8月29日

◎国土交通大臣賞 [2点]

| 部門 | 作品名/場所 | 受賞者名 | 概要 | |
|-----------|-------------------------------------|--|--|--|
| 屋上緑化部門 | 赤坂インターシティAIR (東京都港区) | 日鉄興和不動産株式会社/ 株式会社日本設計/ 株式会社大林組/ 株式会社日比谷アメニス | 本作品は東京赤坂の超高層複合ビルの緑化である。敷地東側には、土地の価値の継承、再生を狙い、江戸の水源であった溜池のほとりを再生した。圧倒的な緑量感を確保するため、自然樹林の調和する姿に倣った植栽・維持管理手法を試みている。 |  |
| 壁面・特殊緑化部門 | 横浜北線・岸谷生麦線高架下 キリン緑地 (神奈川県横浜市) | 麒麟麦酒株式会社横浜工場/ 横浜市/ 首都高速道路株式会社/ 内山緑地建設株式会社 | 本作品は横浜市初の敷地外緑地制度を利用した道路高架橋下の緑化である。低照度環境下で生育可能で様々なテクスチャーを持つ耐陰性植物を導入し、薄暗くなりがちな空間イメージを払拭した。明るく彩られた緑豊かな空間は多くの方々に楽しまれている。 |  |

◎環境大臣賞 [2点]

| 部門 | 作品名/場所 | 受賞者名 | 概要 | |
|-----------|--|---|--|---|
| 屋上緑化部門 | 江東区立有明西学園 (東京都江東区) | 株式会社竹中工務店/ 株式会社久米設計/ 江東区/ 株式会社スタジオテラ/ 東光園緑化株式会社 | 本作品は臨海部に位置する義務教育学校の緑化である。地場産業である木材を活かした耐火木構造建築の屋上に、海岸立地に配慮した植栽、ビオトープや学校菜園を配した。雨水を樽に貯め、学校菜園の水やり利用するなど、環境教育の促進を目指している。 |  |
| 壁面・特殊緑化部門 | 都電荒川線無灌水量型軌道緑化 (荒川車庫前停留場付近) (東京都荒川区) | 株式会社トーケン/ 小松マテーレ株式会社/ 未来緑化株式会社 | 本作品は無灌水量型軌道緑化である。クッション材を工夫・改良し、砕石上に直接、設置可能な緑化基盤となっている。4種混合セダム、単植メキシコマンネングサを植栽し、無灌水量対応に加え、保守作業時の軽減化と維持管理の簡略化を可能にした。 |  |

◎日本経済新聞社賞 [2点]

| 部門 | 作品名/場所 | 受賞者名 | 概要 | |
|---------|---------------------------------------|-----------------------------------|--|---|
| 屋上緑化部門 | 三鷹中央 防災公園・ 元気創造プラザ (東京都三鷹市) | 三鷹市/ 独立行政法人都市再生機構/ 株式会社日本設計 | 本作品は公園敷地内の人工地盤上緑化である。防災公園として成立させるため、地下運動施設自体の各種構造を組合せ、植栽基盤・車輛通行の荷重支持を可能にした。日常時は市民の憩いの場、災害時は周辺住民の避難場所となる公園を実現した。 |  |
| 特定テーマ部門 | UEC Hydroponic Farm (東京都調布市) | 国立大学法人電気通信 大学佐藤証研究室 | 本作品は屋上に設置した水耕栽培システムである。土地の限られた都市に農を広げるための実験施設として、イベントや学生への課外授業を行っている。IoT 技術を活用した無農薬栽培で、地元の小学校や病院、都内の複数の商業施設に導入されている。 |  |

◎都市緑化機構会長賞 [2点]

| 部門 | 作品名/場所 | 受賞者名 | 概要 | |
|--------|------------------------------|--|--|---|
| 屋上緑化部門 | 東京ミッドタウン 日比谷 (東京都千代田区) | 鹿島建設株式会社一級 建築士事務所/ 株式会社ランドスケープ デザイン | 本作品は官民一体の都心型大規模複合開発プロジェクトの緑化である。「People in the Park」のもと、日比谷公園への眺望、緑のつながりを最大限に活かした環境づくり、街の魅力づけを実践。計画初期から緻密な風向シミュレーションを行い、様々な対策を講じている。 |  @FOTOTECA |
| 屋上緑化部門 | 長崎県庁舎 行政棟屋上緑化 (長崎県長崎市) | 長崎県/ 日建・松林・池田特定建設 関連業務委託共同体/ 鹿島・上滝・堀内特定建設 工事共同企業体/ 箱根植木株式会社 | 本作品は県庁舎行政棟2階レベルのテラス緑化である。テラスに面して開放性の高い食堂や売店を配したパブリックスペースとして計画した海岸性の地域性種苗の採用、コンピュータシミュレーションによる植栽配置の最適化により、長崎らしい海岸の丘の風景を再現した。 |  |

◎奨励賞 [1点]

| 部門 | 作品名/場所 | 受賞者名 | 概要 | |
|---------|--------------------------------|-----------------------------|---|---|
| 特定テーマ部門 | グリーンカーテン 共同育成活動 (愛知県常滑市) | 中部国際空港株式会社/ 愛知県立半田農業高等学校 | 本作品は2012年度より開始した、第1ターミナルビルにおけるグリーンカーテン共同育成活動である。地元農業高校が挿木繁殖したパッションフルーツを活用し、環境配慮、夏場の日射し対策、癒し空間の演出に貢献している。各種メディアにて、産学連携・地産地消のモデルとして取り上げられた。 |  |

第18回 屋上・壁面緑化技術コンクール 概要

■目的

建築物の屋上や壁面等の特殊空間の緑化について、意欲的に取り組み優れた成果をあげている民間企業、地方公共団体、個人等を顕彰することにより、屋上等の特殊空間の緑化技術の一層の普及推進を図り、もって都市環境の改善を進め、豊かな都市生活の実現に寄与することを目的としています。

■応募対象

| | |
|-----------------------|--|
| 屋上緑化部門 | 建築物の屋上、屋根の緑化 |
| 壁面・特殊緑化部門 | ①建築物の壁面の緑化 ②土木構造物の壁面(高架道路壁面、擁壁等)の緑化 ③土木構造物の高架(道路・鉄道高架部分、橋等)上・下空間の緑化 ④屋内(アトリウム、室内、地下空間等)、ペランダの緑化 ⑤その他通常の方法では緑化が困難な空間の緑化 |
| 特定テーマ部門 「小規模空間の緑化」 | 屋上緑化部門、壁面・特殊緑化部門に準ずる緑化で面積が300㎡のもの |

・応募作品の完成時期：2019年3月31日までに完成したもの。

■表彰

| 表彰 | 部門と表彰作品数 | 適用 |
|-----------|-------------|---|
| 国土交通大臣賞 | 異なる部門から1点 | 土木・建築計画、都市計画等の視点から、特に技術水準が高く、今後の都市緑化技術の模範となる最も優れた作品 |
| 環境大臣賞 | | 生物多様性、環境への配慮等の視点から、特に技術水準が高く、今後の都市緑化技術の模範となる最も優れた作品 |
| 日本経済新聞社賞 | | 特に優れた作品 |
| 都市緑化機構会長賞 | 全部門から1～2点以内 | 技術水準が高く、優れた作品 |
| 奨励賞 | 特定テーマ部門のみ1点 | 地域の課題解決に資し、緑化による先駆的な取組みが優れた作品 |

■スケジュール

募集期間 2019年4月1日～6月30日

入選発表 2019年10月11日

審査委員会 2019年8月29日

表彰式 2019年11月25日 於：明治記念館

■審査委員

| | | |
|-----|--------|------------------------------------|
| 委員長 | 山田 宏之 | 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 教授 |
| 委員 | 東 利博 | 環境省水・大気環境局 大気環境課大気生活環境室長 |
| | 五十嵐 康之 | 国土交通省都市局公園緑地・景観課 緑地環境室長 |
| | 井上 洋 | 一般財団法人ダイバーシティ研究所 参与 |
| | 今村 芳恵 | 一般財団法人日本建築センター 理事・業務企画部長兼建築技術研究所部長 |
| | 仙田 満 | 東京工業大学 名誉教授 / 環境デザイン研究所 会長 |
| | 畑中 秀夫 | 第一生命保険株式会社 取締役常務執行役員 |
| | 宮沢 洋 | 日経BP社 日経アーキテクチュア編集長 |
| | 森本 幸裕 | 京都大学 名誉教授 |
| | 山崎 誠子 | 日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科 准教授 |
| | 高梨 雅明 | 公益財団法人都市緑化機構 専務理事 |

(順不同・敬称略)

■主催・後援等

- ・主催：公益財団法人都市緑化機構
- ・後援：国土交通省、環境省、東京都、日本経済新聞社
- ・特別協賛：第一生命保険株式会社、協賛：住友林業株式会社
- ・協力：一般財団法人公園財団、公益財団法人都市計画協会、一般財団法人日本造園修景協会、一般財団法人日本緑化センター、一般社団法人日本公園緑地協会、一般社団法人日本造園建設業協会、一般社団法人日本公園施設業協会、一般社団法人日本建設業連合会、一般社団法人公共建築協会、一般社団法人不動産協会、一般社団法人日本造園組合連合会、一般社団法人日本植木協会、一般社団法人都市計画コンサルタント協会、公益財団法人日本造園学会、一般社団法人日本ビルディング協会連合会、一般社団法人日本建築学会、一般財団法人日本建築センター、一般財団法人日本宝くじ協会、一般財団法人民間都市開発推進機構、一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会、一般社団法人ランドスケープアーキテクト連盟、公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター